

# これからの学びを考えてみよう!!

～「GIGAスクール構想」が学校にもたらすものとは～

「GIGA※スクール構想」の実現とは大きく「クラウド活用」「高速大容量通信環境」「1人1台学習者用端末」の3つを整備することを指します。『子どもたちの学びはどのように変わり、その変化に向け、学校や教師はどんな準備が必要であるか。』を共に考える資料として、校内研修等で活用ください。

※GIGA = Global and Innovation Gateway for All

第2号

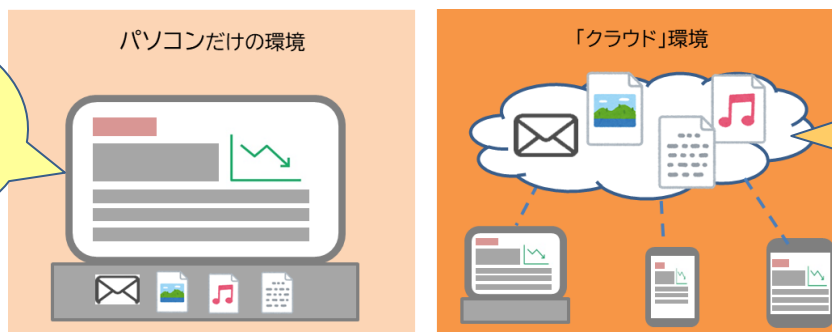
## 「クラウド活用」がもたらす学びの変容とは

「クラウド」って何?

「クラウド」とはインターネット上に保存空間を提供するサービスのことです。先生方が普段使っているコンピュータはデータやアプリケーションが、目の前のパソコンだけに入っている状態です。一方、「クラウド」環境にあるコンピュータでは、データやアプリケーションの一部が目の前のパソコンの中にあるのではなく、ネットワークにつながった先、つまり「クラウド」上に存在しています。

例えば、パソコンで作成した文章ファイルをタブレット端末等、別の端末で編集する場合、タブレット端末内にパソコンと同じ文章編集ソフトが入っていないと、文章ファイルをタブレット端末に送ったとしても編集できません。ですが、クラウド上に文書ファイルを保存すると、クラウド内にアプリケーションが入っていますので、どの端末からでも編集することができます。これが「クラウド」環境です。

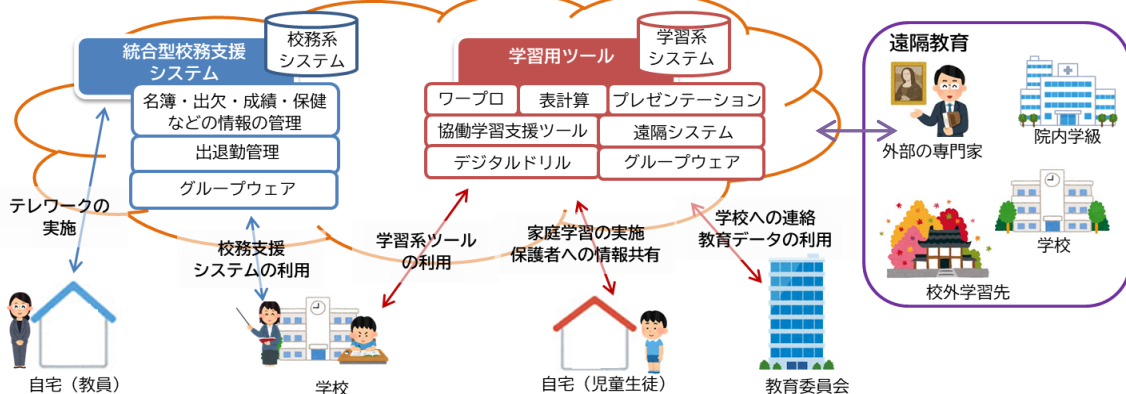
ファイル等は個別の端末に保存されていて、基本的にその端末上で閲覧・編集ができます。



ファイル等はクラウド上にあり、様々な端末で同様に閲覧・編集ができます。

「クラウド」を活用すると...

ICTは、下図のようにクラウド環境下で運用することで、時間や場所、端末等の違いを超え、切れ目なく活用することが可能となり、教育におけるICTの効果を最大限に発揮させることができます。



(文部科学省:「未来の学び」構築パッケージより抜粋)



ただし・・・現状では、教育ビッグデータの収集・活用に地方自治体外のクラウド等を活用する場合、当該地方自治体の個人情報保護審議会等の意見を聞く等の手続きが必要となります。